

子どもの食と栄養	1年 前期 後期	演習2単位	担当教員名	伏見敏子
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 小児栄養の基本的理論を理解した上で、実際の保育に役立つような実践力を身に着ける。 ② 目標・ 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。 ・ 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。 ・ 食育の基本と内容及び食育のために環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。				
授業の概要 健康な生活の基本としての食生活の意義と栄養の基本を理解させる。子どもの発育・発達と食生活。食育の基本及び地域社会・文化との関わりを学ばせ、家庭や児童福祉施設の食生活の現状と課題について考えさせる。特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解を深める。				

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	子どもの健康な生活と食生活の意義	子どもの心身の健康と食生活
2		子どもの食生活と現状と課題
3		栄養素、栄養生理
4	栄養に関する基礎知識	代謝に関する基礎知識
5		食事摂取基準の意義
6		食事摂取基準の活用
7		献立作成
8		調理の基本Ⅰ
9		調理の基本Ⅱ
10		子ども発育、発達と食生活と栄養
11	乳児期の食生活	
12	幼児期の食生活	
13	学童期、思春期の食生活	
14	生涯発達と食生活	
15	世界の子どもの食生活	
16	特別な配慮を要する子どもの食と栄養	疾病および体調不良の子どもへの対応
17		食物アレルギーのある子どもへの対応
18		障害のある子どもへの対応
19	家庭や児童福祉施設における食生活	家庭における食生活
20		児童福祉施設における食生活
21	食を通じて子育てと子育てを支援する	食育がなぜ必要とされているか
22		発育、発達過程に応じて育てたい“食べる力”とは
23		食育における養護と教育の一体性
24		食育の目標
25		食育の内容と計画および評価 1
26		食育の内容と計画および評価 2
27		食育の内容と計画および評価 3
28		食育のための環境
29		食を通じた保護者への支援
30		職員間や地域の関係機関との連携
定期試験	15コマ終了後、及び30コマ終了後に定期試験を実施する。	
テキスト	子どもの食生活－保育と小児栄養－（第3版）	
参考図書	子どもの食生活 第2版（ななみ書房）、最新小児栄養（学建書院）	
教員の評価方法	学習意欲・態度（30%）、期末試験結果（70%）を総合的に判断する。	
準備学習等履修上の留意点	教科書を黙読してくること、授業後のレポート提出	